

## 10月の行事予定

4日(水)	運動会リハーサル
6日(金)	内科検診
14日(土)	運動会
15日(日)	運動会予備日
16日(月)~19日(木)	個別懇談
19日(木)	誕生会
20日(金)	健脚活動③
23日(月)	避難訓練
23日(月)・25日(水)	入園見学会
24日(火)	豊田小交流会
26日(木)	歯科検診
27日(金)	熊山親子登山(そら組)
30日(月)	ほし組お泊り保育説明会

## 11月の行事予定

7日(火)	お泊り保育ごっこ
9日(木)・10日(金)	お泊り保育 (ほし組が1泊2日で保育園に泊まります)
21日(火)	合同避難訓練(豊田小)
22日(水)	健脚活動④
29日(水)	民生委員協議会研修会公演出演(そら組)
30日(木)	誕生会

※行事は変更する場合があります。ご了承ください。

# やまびこだより

社会福祉法人岡山子ども協会 とよた保育園

赤磐市松木549 TEL 995-0244

令和5年10月2日発行

303号



## 職員紹介&いにとさがし

うちだ きおり  
内田 沙緒里(つくしグループ)

- ① バレーボール
- ② メダカの飼育
- ③ 暑さには強いですが、これからの寒さにはとても弱いです。いかにして乗り越えようかと考えています。

- ① 特技
- ② 趣味
- ③ ひとつこと

↓お互いのいいところを伝え合っています↓

たまたま就職した時期が同じな2人。一度は、離れ離れになったけどまた再会です。

あへ たかみ  
阿部 たか美(給食室)

- ① ねこの気持ち分かります。
- ② ブルーインパルスの追っかけ
- ③ おやつおいしかったよ！って言われると元気になります。

いつも子どもたちと一緒に元気よく園庭を走り回っています。太鼓はとよた一上手です。ちょっと乙女な一面もある内田さんです。(阿部より)

子どものことを考えて美味しいおやつを作ってくれます。毎日「どうしたら美味しくなるのかな?」と考える程の腕前です。(内田より)

## ~行事報告~ そら組キャンプ



9月7日(木)~8日(金)に国立吉備青少年自然の家へさくらが丘保育園、さくらんぼ保育園と一緒にそら組キャンプに行きました。キャンプでは、ハイキングや3園交流会などをして過ごしました。キャンプファイヤーでは、火の温かさや明るさを感じたり珍しいスターリンク衛星をみたりすることができ、貴重な体験ができた2日間でした。

### おしらせ

10月から、あんずの家より、児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家に岡野由希が入ります。また、事務の富岡ひとみが、かえでの家に異動になります。よろしくお願いします。



## 子どもの思いと成長(そら組キャンプより)

9月7日・8日と国立吉備青少年自然の家にそら組の子どもたちと一緒にってきました。2日間の間でたくさんの出来事がありました。その中で印象に残ったことを紹介します。

1日目は2段ベッドの寝る場所を決める時、みんなが上で寝たいという思いがあり、話し合いをしていると、じっと考えたAさんが「いいよ。下で寝るよ」と譲っていました。その話を聞いたBさんも「私もいいよ」と言っていました。しかしAさんが「一人で寝るのがさみしい」というとBさんが「一緒に寝てあげる」という場面が見られたりしました。

2日目では朝、園に持って帰る物を準備しながら子どもたちへ「荷物の片づけできるかな」と声をかけると、「大丈夫、自分でできるよ」「もう、できてる」と声が返ってきたり、困っている友だちがいると声をかけながら手伝ったりしていました。ハイキングの時には先頭のグループから少し離れてしまったけれどその友だちのペースに合わせて歩き「みんなが待っているから行こう」と手を差し伸べていました。友だちを思い、優しく接する姿を見て「友だちを大切にし、共に育ち合う子」という保育目標の1つが子どもたちの中で育ってきていることに嬉しさと成長を感じました。

お家の方と離れての生活。出発の数日前から「キャンプいかん」というCさんの声が聞こえてきました。保育者がキャンプに楽しみが持てるよう「大きな湖があるよ」「C君の好きな虫がたくさんいるよ」と伝えましたが、「いかんのんじゃ」と気持ちは変わりませんでした。子どもたちは言葉には表さなくてもきっとさみしい、大丈夫かな、楽しみだけれど不安という気持ちはあったと思います(我が子も「お泊り保育にはいかん」と言っていました)。現地ではCさんは友だちと虫探しに夢中でした。取り方が上手くみんなに「取って」と声をかけられて頼もしい存在でした。その姿を見て私は安心をしながらも、大人も初めて経験することは不安を抱くので、子どもが不安を抱くのは当たり前だと思いました。一人ひとりの子どもたちの揺れ動く気持ちに寄り添い、私たち保育者が当日までに1つでも不安を取り除き、楽しみが増えるようにすることが大切です。1泊2日のさくらが丘・さくらんぼ保育園と初めて多くの友だちと生活を共にしました。この豊かな経験をとおして子どもの夢や希望が育つ心の糧にし、成長してほしいです。

岡村 里恵

### キャンプでの約束

- ① 自然を大切にしよう
- ② 自分の身体は自分で守る
- ③ 自分の事は自分でしよう
- ④ 友だちをつくろう



とよた保育園ホームページURLとQRコード  
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>



# やさしさを感じる時

## つき・ほし組



保育園の生活のなかで、こどもの姿を通してやさしさを感じることがあります。それは園庭で転んだ友だちのそばに寄って顔を覗き込んだり、頭をなでたりする姿に。ジョーロに水を入れて花壇や畑に何回も運んでいるこどもに。そんな姿は見ていた大人のこころを動かします。それではそういうことを、どうしてその子はできるようになったのでしょうか。

こどもたちは、自分がしてもらってうれしかったこと、見ていて自分もしたいと感じたことを素直にしているのだと思います。つまり、大人や友だちとの関わりのなかで身につけたものを自分でしようとするようになったのではないのでしょうか。



運動会に向けて少しずつクラス競技やかけっこに取り組んでいます。中でも今回のかけっこは、つきほし組が手を繋いで入場をします。つき組がどこに行けばよいのかわからない時、自然とほし組の友だちが「こっちだよ」「ここにいてね」「名前呼ばれたよ」などと声をかけている姿に、保育者はこどもたちの成長と共に、ほっこりとした温かい気持ちになりました。

いつもはそら組がつき組をお世話していることが多いのですが、そら組がないと「僕たち(私たち)に任せて」と自分たちがすることが嬉しいほし組です。かけっこですが、たてわり保育ならではのこども同士の関わりも垣間見るといいなと思います。

## そら組



そら組キャンプに向けて活動の中でこども同士で、話し合いをする場面がありました。スタントの話し合いをした時に流星太鼓か爽涼鼓舞(踊り)にするのなかなか決まらず「どうしようか」と保育者が困っていました。こどもたちのほとんどは爽涼鼓舞がしたいと言っており、流星太鼓を選んだのは16人中2人だけ。多数決では決めたくないと思っていると流星太鼓を選んだAさんが、「じゃあ、したい人が多い方にしよう。みんなに譲って爽涼鼓舞、練習したらいいんじゃないもん」とみんなに話をし、スタントを決めることができました。周りの友だちの意見を尊重し、自分で考え譲ることができることに嬉しく感じました。

## はなゆき組



## にじ組



日々の生活の中で友だちのことを考えているのだなと感じる場面があります。泣いている子がいると「お母さんに会いたくて泣いとるかもしれない」と頭をヨシヨシする子。おもちゃの取り合いになっている子がいるとそっと他のおもちゃを差し出してあげる子。園庭で遊んでいる時に友だちの帽子が落ちているのを見つくと、拾って友だちに届ける子。生活のふとした瞬間にこどもたちの優しい姿を見ることができます。このようなこどもたちの姿を私たち保育者は見逃さないようにしていきたいです。



人形をヨシヨシする、花に水をあげる、友だちと手をつなぐなど、優しい場面が多く見られるようになりました。その都度保育者が「仲良しだね」「素敵だね」と笑顔で伝えると、ニコニコと嬉しそうに笑うこどもたち。このような大人の声掛けや言葉で嬉しかったことを友だちに伝える姿も見られるようになりました。BさんとCさんがつきあそびをしているとCさんが「Bさんすごい、高いね」と伝えていました。これからも優しい場面を見逃さず肯定的なことばがけて保育をしたいです。